

日本の竹100%の竹紙(たけがみ)

中越パルプ工業 株式会社

竹紙は、日本の竹100%を原料にした
中越パルプ工業だけの製品です。



「竹の商品・製品」



日本の竹100%の「竹紙」

総合製紙会社の中越パルプ工業は、2009年から日本の竹100%を原料とした「竹紙」をマスプロ製品として、製造販売している唯一の企業です。「竹紙」はサステイナブルな素材として注目が高まっています。

- 工場の所在する鹿児島県を中心に、毎年約1万トンの国産竹を買い取り、地域経済に貢献。
- 使い道のない竹の有効活用は、放置竹林の整備にも寄与し、森林や里山、生物多様性保全にも役立つ。
- 針葉樹と広葉樹の中間的な性質を持つ繊維により、印刷用途から封筒、袋、包装用途まで、幅広く活用できる。
- 製紙原料には不向きな竹を、地域のためにと、行動を起こした一人から始まった取り組みであり、様々な社会的課題に対する気づきを与えるきっかけにもなる。竹紙の取り組みはCSVの好事例とされる。
- 第8回エコプロダクツ大賞 農林水産大臣賞、第3回生物多様性日本アワード 優秀賞、第15回グリーン購入大賞 優秀賞他、受賞多数。高い社会的評価が続く。

中越パルプ工業 株式会社 営業企画部

〒100-8533 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル 8階

03-6811-2971 honsha-eigyokikaku@chuetsu-pulp.co.jp <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

セルロースナノファイバー「nanoforest」

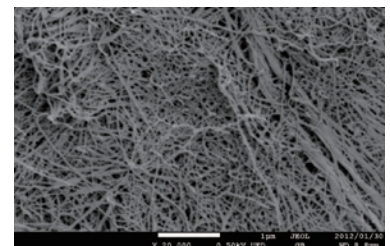
植物の作り出した新たな高機能素材

セルロースナノファイバー(CNF)にも、独自に竹を活用しています。

セルロースナノファイバー「nanoforest」

2013年から、原料パルプをナノレベルまで微細化した新機能素材である、セルロースナノファイバー(CNF)の研究開発、サンプル販売も開始しています。国産竹集荷ノウハウを生かし、木材だけでなく独自に国産竹もCNFの原料にしています。2017年から川内工場(鹿児島県薩摩川内市)で、第1期商業プラントを稼働しており、2021年には高機能CNFパイロットプラント(富山県高岡市)も稼働すべく準備中です。

- nanoforest(ナノフォレスト)は、極微細なサイズを意味する「nano」と、天然の森林を意味する「forest」を結びつけた当社独自商標。
- 自社パルプより製造する一貫生産品により、原料も針葉樹や広葉樹にとどまらず、他社にない特徴として国産竹も選択可能。
- 化学薬品を使用しない、水のみを用いるナノ微細化法、水中対向衝突法(ACC法)を採用し、環境配慮型CNFとして、産業素材のみならず、食品、医療等、幅広く適用可能。
- 竹パルプから製造したCNFは、木材パルプ由来のCNFに比べ、より疎水性が強い特徴を有す。



中越パルプ工業 株式会社 開発部 CeNF 担当

〒933-8533 富山県高岡市米島282

問合せフォーム <https://www.cpc-cenf.com/form.html>